

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-131	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	音Ⅱ 050-901	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti+		

## 1 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法 第二条（教育の目標）の第一号～第五号の達成を目指し、音楽科において主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業が展開できるように編修しました。

### 第一号

の達成のために

音楽に関する幅広い知識を身に付け、音楽表現に必要な技能を習得しながら豊かな情操を養うことを目指しています。

p.88 交響曲を味わおう

モーツァルト晩年の交響曲

モーツァルトの晩年の交響曲は、その音楽的完成度が高く、後世に大きな影響を与えています。本教科書の編修にあたっては、モーツァルトの晩年の交響曲について、その音楽的完成度の高さや、後世に与えた影響について、詳しく解説しています。

交響曲第40番 ト短調 K.550

「交響曲第40番」は1789年に作曲されました。交響曲第40番、第41番とともに「大交響曲」として知られる。序奏がフーガ・アダージョ、モーツァルト（1756-1791）晩年の傑作で、後半はシベリウスの交響曲第4番と通ずる。全曲は、1789年の作品と見られる。2楽章の構成で、エ・ラララララ、アダージョ、終曲の3楽章から構成されています。

第1楽章

2楽章で進行する動きが繰り返されること特徴  
第2楽章で進行する動きが繰り返されること特徴  
第3楽章で進行する動きが繰り返されること特徴

第2楽章

第2楽章は、第1楽章の動きが繰り返されること特徴  
第3楽章は、第1楽章の動きが繰り返されること特徴

第3楽章

第3楽章は、第1楽章の動きが繰り返されること特徴  
第4楽章は、第1楽章の動きが繰り返されること特徴

幅広い知識や教養、  
音楽表現に必要な技能を  
身に付けやすいように、  
分かりやすい紙面構成を目指しました。

p.70 ギターの演奏を楽しもう

ギターコード集

【きらきら星 フランス 作曲：モーツァルト】

【シューベルトの子守歌 奥地利 作曲：シューベルト】

ギターコード集

きらきら星

シューベルトの子守歌

### 第二号

の達成のために

音楽に関する個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、音楽的な創造性を培うことを目指しています。

p.80 楽器の音色やリズム・パターンを生かして音楽を構成してみよう

楽器の音色やリズム・パターンを生かして音楽を構成してみよう

1 楽器の音色やリズム・パターンを生かして音楽を構成してみよう

2 クラウドプロックを構成して音楽を構成してみよう

3 楽器の音色やリズム・パターンを生かして音楽を構成してみよう

音楽を構成する活動や  
音楽表現を工夫する教材では、  
個人の価値意識を  
尊重するように配慮しています。

p.16 からたちの花

【からたちの花】

Antandante tranquillo ♩ 7/8

からたちの花

SAMPLE

**第三号**  
の達成のために

音楽活動を通して**自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき社会における音楽の意味や役割を理解することを目指しています。**

【春よ、来い】

p.8 春よ、来い

p.22 あなたはどこに

【あなたはどこに】

音楽の学習の中で  
他者を思いやる優しい心を  
養えるような歌詞の楽曲を  
掲載しています。

**第四号**  
の達成のために

生命を尊び自然を大切に**する心情を音楽活動を通して培い、その重要性を認識することを目指しています。**

【ほたるこい】

p.26 ほたるこい

【心と心で】

p.30 心と心で

自然の美しさや生命を尊重する  
内容を題材にした楽曲を掲載し、  
これらに寄与する心を育むこと  
ができるように配慮しました。

**第五号**  
の達成のために

音楽に関する**伝統と文化を尊重し、我が国や郷土の音楽文化を愛するとともに、他国の音楽文化を尊重する態度を養うことを目指しています。**

我が国の伝統的な音楽や  
諸外国の音楽を学習できる  
教材を用意しています。

【こきりこ節】

p.18 こきりこ節

【世界のさまざまな音楽の魅力】

p.106 世界の音楽と文化

## ■構成や内容

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、以下の構成や内容を工夫をしました。

- 音楽に関する知識と技能がバランス良く身に付けられるよう、教材の配列や教科書全体の構成を工夫しました。
- 音楽における創造性を培うことを目指し、生徒一人一人の音楽への価値意識を尊重しながら学習を展開するための教材を選択しました。
- 社会における音楽の意味や役割を理解するとともに、自他の敬愛や協力を重んじる音楽活動を設定しました。
- 楽曲に込められた思いやメッセージによって、生命や自然を大切にすることを意識できる教材を選択しました。
- 我が国や郷土の音楽に親しむとともに、我が国や他国の音楽文化を尊重する態度を養うことができるよう多様なジャンルの教材を選択しました。

## 2 対照表

図書の内容・構成に基づき、特に意を用いた点や特色を示しています。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
歌唱 <i>Singing</i>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽に関する知識と技能をバランスよく身に付け、生徒一人一人が音楽への価値意識をもって歌唱表現できるように配慮しました。</li> <li>●合唱やアンサンブルの表現活動によって、自他の敬愛や協力を重んじながら歌唱表現を工夫できるよう楽曲を選択しました。</li> <li>●自然や四季の美しさ、生命の大切さなどをテーマとした楽曲を取り上げ、生命や自然を大切にすることを意識できるように配慮しました。</li> <li>●我が国や郷土の音楽や芸能、諸外国の音楽などさまざまなジャンルの楽曲を取り上げ、音楽文化の理解が深まるよう工夫しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ p.4～55</li> <li>▶ p.22～33 p.54～55</li> <li>▶ p.26～27 p.30</li> <li>▶ p.18～21 p.34～53</li> </ul>
器楽 <i>Playing Instruments</i>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽に関する知識と技能をバランスよく身に付け、生徒一人一人が音楽への価値意識をもって器楽表現できるように配慮しました。</li> <li>●演奏やアンサンブルの表現活動によって、自他の敬愛や協力を重んじながら器楽表現を工夫できるよう楽曲を選択しました。</li> <li>●我が国や諸外国の楽器や楽曲を取り上げ、音楽文化の理解が深まるよう工夫しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ p.56～75</li> <li>▶ p.62～75</li> <li>▶ p.56～61</li> </ul>
創作 <i>Creative Music Making</i>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽に関する知識と技能をバランスよく身に付け、生徒一人一人が音楽への価値意識をもって創作活動できるように配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ p.76～81</li> </ul>
鑑賞 <i>Appraising</i>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽に関する知識を身に付け、生徒一人一人が音楽への価値意識をもって鑑賞活動できるように配慮しました。</li> <li>●自然や四季の美しさ、生命の大切さなどをテーマとした楽曲を取り上げ、生命や自然を大切にすることを意識できるように配慮しました。</li> <li>●我が国や郷土の音楽や芸能、諸外国の音楽などさまざまなジャンルの楽曲を取り上げ、音楽文化の理解が深まるよう工夫しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ p.82～113</li> <li>▶ p.87</li> <li>▶ p.82～87 p.106～109</li> </ul>
音楽理論・資料編	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽に関する基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるように配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ p.114～125 p.37, p.39, p.43</li> </ul>

## 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### ユニバーサルデザインに配慮した紙面

判読しやすい配色やUD書体を使用して、すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

### 環境にやさしい教科書

教科書の印刷は、地球の環境への影響を考慮し、環境に配慮した紙や植物油インキを使用しています。

### 見やすさに配慮した紙面

A4判型を採用し、楽譜、文字、写真、図表などの見やすさに配慮しています。

### 学びを支えるWEBコンテンツ

紙面掲載の二次元コードなどから、外国語の歌詞の朗読や楽器の演奏など学習に役立つWEBコンテンツを利用いただけます。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-131	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	音Ⅱ 050-901	音楽Ⅱ 改訂版 Tutti+		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、音楽に関する知識や技能を身に付け、音楽表現を創意工夫し、音楽に対する自己の価値意識を考え、主体的・協働的な音楽活動を展開することができるように教科書全体の構成及び内容を工夫しました。

### 教科書全体の構成

表現と鑑賞の幅広い活動を通して、音楽の構造や背景、その多様性を理解し、音楽表現に必要な技能を身に付けることを目指して、【歌唱 Singing】 【器楽 Playing Instruments】 【創作 Creative Music Making】 【鑑賞 Appraising】 【音楽理論・資料編】の構成としました。また、各教材や資料は、音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながら聴いたりすることができるよう、学習内容の関連を図ることができるように工夫しました。このことで、主体的・協働的に音楽の学習に取り組み、音楽文化の理解が深まることを目指しています。

#### 歌唱 Singing

生徒にとって身近な音楽や、長く親しまれている歌、郷土の音楽など、様々なジャンルの楽曲を取り上げました。外国語の原語による歌唱も体験できるよう配慮しました。

p.8 春よ、来い

【春よ、来い】 作詞：長谷川裕見子 作曲：長谷川裕見子  
編曲：長谷川裕見子

SAMPLE

p.16 からたちの花

【からたちの花】 作詞：長谷川裕見子 作曲：長谷川裕見子  
編曲：長谷川裕見子

SAMPLE

p.42 Ich liebe dich

【Ich liebe dich 愛の歌】 作詞：長谷川裕見子 作曲：長谷川裕見子  
編曲：長谷川裕見子



音楽理論  
資料編

音楽に関する基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるように配慮しました。また、生活や社会の中の音楽の役割や意味を考え、音楽文化の理解を深められる資料を掲載しました。

p.39 Review of Basics ②

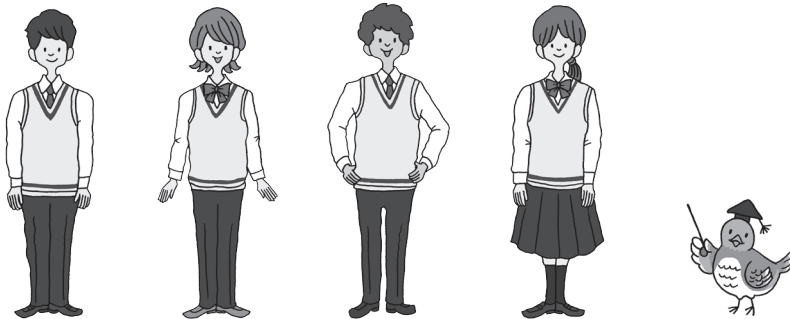
p.124 コンピュータを活用しよう

p.125 知的財産権について理解しよう

その他の特色

キャラクター「とり先生と生徒たち」

先生と生徒たちのキャラクターによって、学習のヒントや手順を示したり補足説明したりすることで主体的な学習活動を促します。



リンクマーク

リンクマークは、学習内容が関連するページを示しています。学習内容を確認したり発展させたりすることができるように工夫しました。

LINK p.61 **はやし** お囃子を楽しもう

## 2 対照表

教材名	該当箇所	A 表現												B 鑑賞												
		(1) 歌唱						(2) 器楽						(3) 創作			ア			イ						
		ア		イ		ウ		ア		イ		ウ		ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ				
		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)				(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)				
		知識や技能を生かしながら創意工夫	曲想と音楽の構造や背景との関わり	言葉の特性と発声との関わり	様々な歌唱表現の特徴	発声、発音などの技能	調和を意識して歌う技能	表現形態の特徴を生かして歌う技能	知識や技能を生かしながら創意工夫	曲想と音楽の構造や背景との関わり	曲想と音色や奏法との関わり	様々な器楽表現の特徴	奏法、身体を使い方などの技能	調和を意識して演奏する技能	表現形態の特徴を生かして演奏する技能	知識や技能を生かしながら創意工夫	音楽材、響き、音階や音型、構成上の特徴について理解	反復、変化、対照を活用する技能	旋律、副次的旋律、和音などを付ける技能	要素を変化させ変奏や編曲をする技能	曲や演奏に対する評価とその根拠	音楽の意味や価値	音楽表現の共通性や固有性	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり	音楽の特徴と背景、他芸術との関わり	我が国や郷土の音楽の種類と特徴
Pretender / Tomorrow / 島唄 / 春よ、来い / Hum With Me.. / Ave Maria	p. 4~13	○	○	○		○	○	○																		
風の子供 / からのちの花	p.14~17	○	○	○		○																				
こきりこ節 / 能「羽衣」から上歌 / 朗詠「嘉辰」	p.18~21	○	○	○		○																				
あなたはどこに / たからもの / ほたるこい / Moon river / 大きな古時計 / 心と心で / Amazing grace / いのちの名前 / 想い出がいっぱい	p.22~33	○	○	○	○	○	○	○																		
Core 'ngrato (カタリ・カタリ) / Placer d'amor (はかなし愛の誓い) / Nessun dorma (誰も寝てはならぬ)	p.34~38	○	○	○		○																				
Auf Flügeln des Gesanges (歌の翼に) / Ich liebe dich (愛の願い)	p.40~43	○	○	○		○																				
Yesterday once more / Let it be / Take me home, country roads (故郷へ帰りたい) / Over the rainbow (虹の彼方に)	p.44~49	○	○	○	○	○	○	○																		
Les feuilles mortes (枯葉)	p.50	○	○	○		○																				
Tout, tout pour ma chérie (シェリーに口づけ)	p.51	○	○	○	○	○	○	○																		
草原情歌 (ツァオユアンチンゴ)	p.52	○	○	○		○																				
도라지 타령 (トラジ タリョン)	p.53	○	○	○		○		○																		
Deck the hall with boughs of holly (ひいらぎかざろう) / You are my sunshine	p.54~55	○	○	○	○	○	○	○																		
箏曲「六段の調」から初段 / 「勸進帳」から寄せの合方 / ていんさぐぬ花	p.56~60								○	○	○		○													
「管弦楽のための木挽歌」から	p.61								○	○	○	○	○	○	○											
Down by the sally gardens (サリーガーデン) / 「交響曲第1番」から第4楽章 / Air ~ 「水上の音楽」から ~ / 風の谷のナウシカ ~ エンディング ~ / 眠れ、よい子 / ほたるこい / 雪のおどり / アレルヤ / ニュー・シネマ・パラダイス ~ タイトル曲 ~ / 二人だけの映画会 / 愛のテーマ	p.62~67								○	○	○	○	○	○	○											
Cavatina / Can't help falling in love (好きにならずにいられない) / きらきら星 / シューベルトの子守歌 / 「Heart and Soul」によるギター・エチュード / 「これは何とすばらしい響きだ…」によるギター・エチュード	p.68~71								○	○	○	○	○	○	○											

教材名	該当箇所	A 表現															B 鑑賞									
		(1) 歌唱						(2) 器楽						(3) 創作			ア			イ						
		ア	イ			ウ			ア	イ			ウ			ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ		
			ア	イ	ウ	ア	イ	ウ		ア	イ	ウ														
		知識や技能を生かしながら創意工夫	曲想と音楽の構造や背景との関わり	言葉の特性と発声との関わり	様々な歌唱表現の特徴	発声、発音などの技能	調和を意識して歌う技能	表現形態の特徴を生かして歌う技能	知識や技能を生かしながら創意工夫	曲想と音楽の構造や背景との関わり	曲想と音色や奏法との関わり	様々な器楽表現の特徴	奏法、身体の使い方などの技能	調和を意識して演奏する技能	表現形態の特徴を生かして演奏する技能	知識や技能を生かしながら創意工夫	音楽材、響き、音階や音型、構成上の特徴について理解	反復、変化、対照を活用する技能	旋律、副次的旋律、和音などを付ける技能	要素を変化させ変奏や編曲をする技能	曲や演奏に対する評価とその根拠	音楽の意味や価値	音楽表現の共通性や固有性	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり	音楽の特徴と背景、他芸術との関わり	我が国や郷土の音楽の種類と特徴
八木節音頭 / The raiders march	p.72~75								○	○	○	○	○	○												
動機をもとにして音楽をつくろう	p.76~77															○	○	○								
「どじょっこ ふなっこ」を変奏してみよう	p.78~79															○	○		○							
楽器の音色やリズム・パターンを生かして音楽を構成してみよう	p.80~81															○	○	○								
宮中の神楽(御神楽) / 国風歌舞「東遊」 / 舞楽「抜頭」 / 管絃「抜頭」 / 四智梵語讃 / 那須与一	p.83~87																			○	○	○	○	○	○	○
交響曲第40番 ト短調 K.550	p.88~89																			○	○	○	○	○	○	○
トゥーランドット / キャッツ	p.90~93																			○	○	○	○	○	○	○
吹奏楽のための第1組曲変ホ長調 op.28-1	p.94~95																			○	○	○	○	○	○	○
「組曲」 op.25 から「プレリュード」 / 時の終わりのための四重奏曲 / ソナタとインターリュード / 24の前奏曲 op.53 / 弦楽のためのレクイエム	p.96~97																			○	○	○	○	○	○	○
ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11 / 交響詩「ローマの松」 / ペール・ギユント第1組曲 op.46 / ラプソディ・イン・ブルー / パレエ組曲「エスタンシア」 op.8a / リベルタンゴ	p.98~101																			○	○	○	○	○	○	○
ピアノソナタ第2番 op.35 第1楽章から	p.102~103																			○	○	○	○	○	○	○
グレゴリオ聖歌の「アヴェ・マリア」 / アヴェ・マリア (ジョスカン・デプレ) / アヴェ・マリア (シャルル・ブノー)	p.104																			○	○	○	○	○	○	○
無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータより「シャコンヌ」 / フルートとハープのための協奏曲 / サクソフォーンと管弦楽のためのラプソディ / バガニーニ・パーソナル	p.105																			○	○	○	○	○	○	○
世界のさまざまな音楽の魅力	p.106~107																			○	○	○	○	○	○	○
世界への扉	p.108~109																			○	○	○	○	○	○	○
見上げてごらん夜の星を / 残酷な天使のテーゼ	p.120~121	○	○	○	○	○																				
I Saw The Light	p.122~123	○	○	○	○	○																				